

SMS型仕切弁

継手一体型ダクタイル鋳鉄仕切弁

System Metal Seat: joint unified sluice valve on separate system

究極の継手一体型がついに登場！

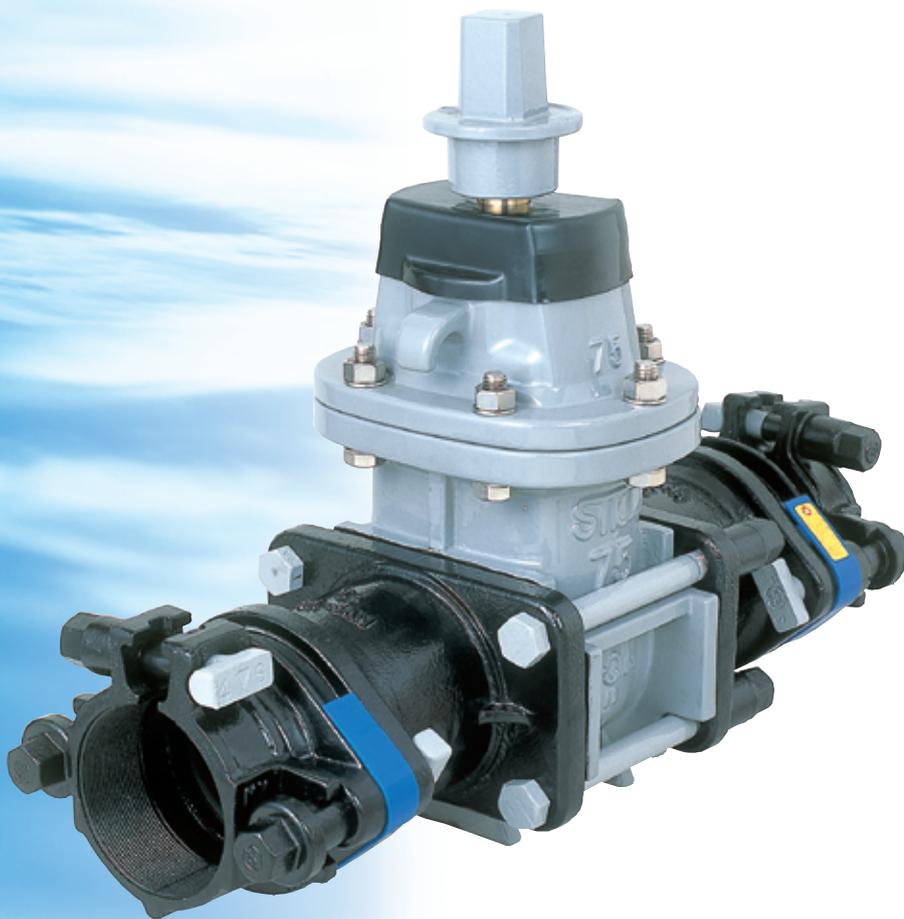
ここがポイント

System

- 仕切弁と継手が一体型になることにより、大幅な施行時間の短縮が可能になり、また配管部に伸縮可とう量が確保できます。
- 管の種類に適した継手部の選択が可能です。
(塩ビ管用・鋼管用・ポリエチレン管用)
- 継手部が分離できるので、既設管への切り込みも可能です。

Metal Seat

- 仕切弁部の止水部には、過酷な条件にも耐えられるメタルシート(金属弁座)を採用。
- JWWA B 122-ショート規格(浅層埋設対応型)に適用した構造・性能を備えた仕切弁です。



継手一体型で分離可能！それがシステム

仕切弁部と継手部が脱着可能だから…

1. 仕切弁でありながら、既設管への切り込みがダイレクトに可能です。(業界初)

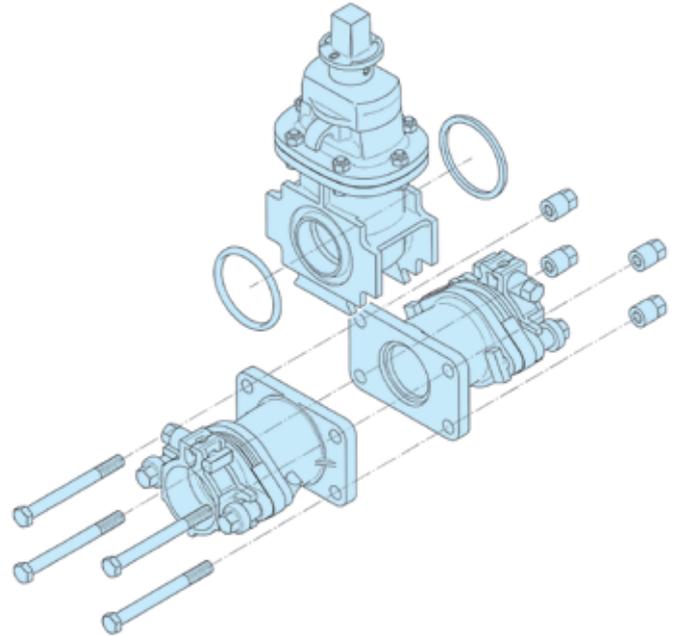
既設管をあらかじめ設定した管端寸法(下表)で切断し、継手部(左右)→仕切弁部→接続(再組立)の手順で、必要な場所に仕切弁の増設が可能です。

呼び径	既設管切込時の管端(切断)寸法
50	206~216
75	224~244
100	244~258
150	260~300

2. もしもの時に、仕切弁部の交換が可能です。

仕切弁部には、耐久性に優れたメタルシート型仕切弁を用いていますが、もしもの時など、4本の接続用ボルト、ナットの取り外しだけで、仕切弁部の交換が容易に行えます。

また、仕切弁部と継手部の接続には、高圧配管でも安心なGFガスケットを用い、ボルト、ナットは、堅牢で耐食性に優れた“FCD+粉体塗装”品を標準としています。



3. 仕切弁部をはさんで、異なる呼び径や異なる管種の接続が可能です。

管の呼び径を絞りたい時や、管の種類を替えたい時など、ご用命頂ければ継手部を左右異なるタイプにアレンジすることができます。(バリエーションは順次製作中)

継手は、分解不要メカ形ジョイント

1. 分解せずにそのまま、管がスッポンと入ります。

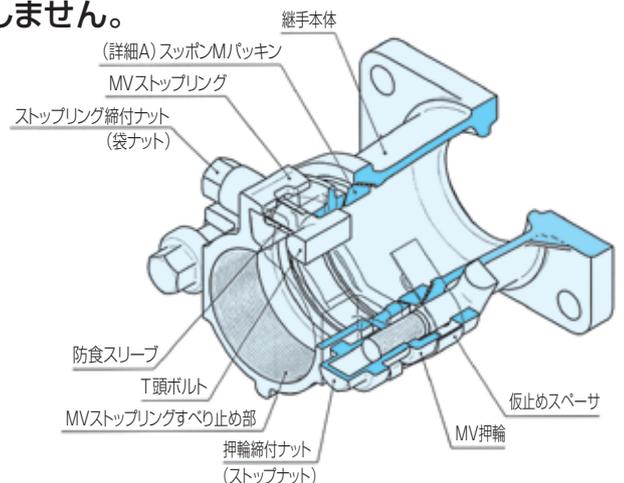
管外径より内径が大きいパッキンにより、メカ形でありながら分解・再組立の必要は無く、滑剤塗布・面取作業なども一切不要で、管は抵抗なく手で挿入できます。

そのうえで、パッキンに設けた管と同軸の凸部が、受け口のテーパ面に沿って転がる作用で、軽く均一に縮径するしくみを備えています。



2. 止水部と分離した離脱防止機能は、水密性を阻害しません。

伸縮・可とう性のあるストップリングは、JWWAの性能基準6項目をすべてクリアしており、離脱力を幅の広い面積で受けるので、管をいためず、塩ビ管に最適です。(伸縮量 10mm以上・可とう量 ±4°)

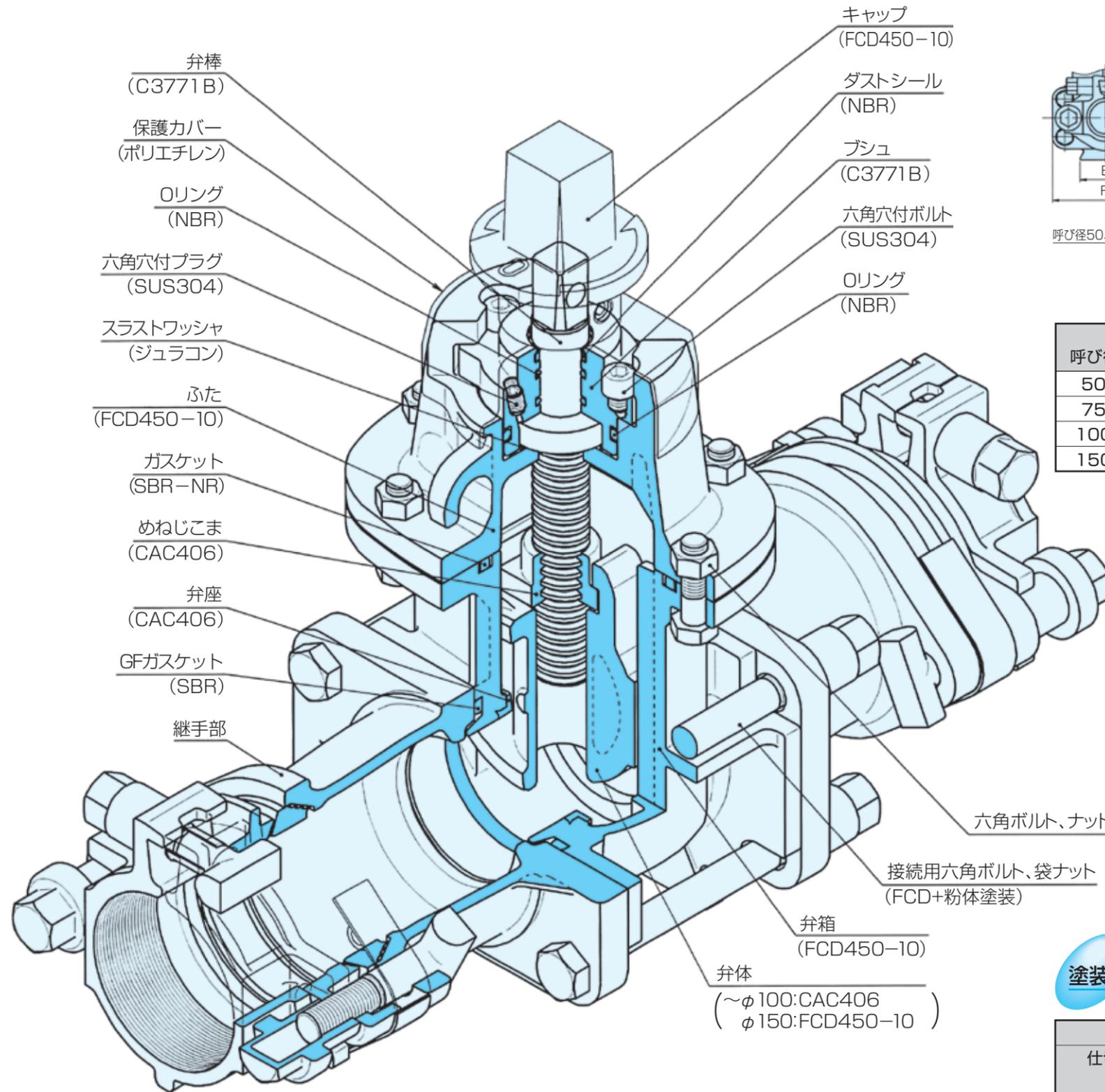


3. 外面は全品粉体塗装で、耐食性は抜群です。

継手本体・押輪・ストップリングには平均80μの粉体塗装を施し、袋ナットとスリーブでボルトのネジ部が外部に触れません。

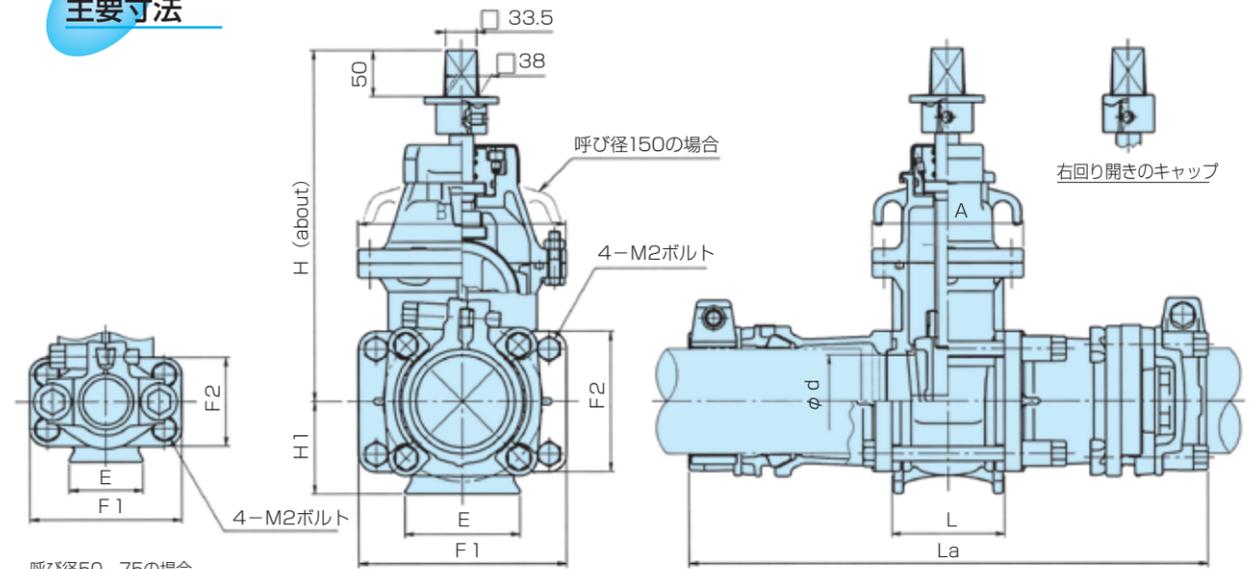
これがSMS型仕切弁だ！

構造及び主要部材質



注:本図は、塩ビ管用継手付の場合を示します。

主要寸法



注:呼び径50には、吊り下げフックが無しとなります。

呼び径	d	La	L	F1	F2	M2	高さ		A	B	E	回転数 (約)
							H	H1				
50	50	474	100	164	96	M16	280	65	144	164	80	14
75	75	516	110	195	125	M16	330	85	152	195	100	14
100	100	548	122	225	152	M16	380	100	163	225	125	18
150	150	616	162	301	204	M20	460	135	229	314	175	20

標準仕様

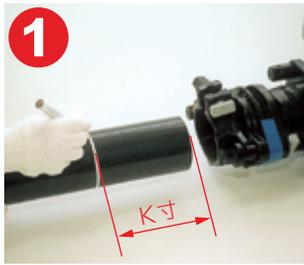
呼び径	50・75・100・150		
ねじ形式	内ねじ式		
適用流体	水道水・工業用水・農業用水		
呼び圧力	2種 (7.5K)	3種 (10K)	
使用圧力	0.75MPa / 1.0MPa		
試験圧力	仕切弁部	弁箱耐圧	1.75MPa / 2.3MPa
		弁座漏れ	0.75MPa / 1.0MPa
継手部 (管接合部)	4.0MPa		
操作方式	手動・立形・キャップ式		
開閉方向	左回り開き 又は 右回り開き		
対応管種	水道用硬質塩化ビニル管 (VP・HIVP) 水道用各種配管用鋼管 (SP・SUS) 水道配水用ポリエチレン管 (PE)		

塗装仕様

塗装仕様		内外面粉体仕様		内面粉体仕様	
仕切弁部	内面	エポキシ樹脂粉体塗装 (灰色)			
	外面	エポキシ樹脂粉体塗装 (灰色)	合成樹脂塗装 (黒色)		
継手部	内面	エポキシ樹脂粉体塗装 (灰色)			
	外面	エポキシ樹脂粉体塗装 (黒色)			
接続用ボルト、ナット		エポキシ樹脂粉体塗装 (灰/黒)		合成樹脂塗装 (黒色)	

注:内外面粉体仕様を標準としております。

● 新設管の場合



パイプに標線を入れる。
(管切断面のカエリは取り除く)
※「K寸の表」参照

●K寸の表

呼び径	K (mm) $^{+10}_{-0}$
50	135
75	145
100	165
150	185



ストップリング締付部を上面にしてパイプを標線まで入れ、(手作業) 押輪締付ナットを少し緩める。



2カ所の仮止めスペーサを取り外す。



押輪とストップリングが接した状態で標線と合わせ、押輪締付ナットをパイプが仮固定するまで手締め又は軽く締める。



押輪と接した状態でストップリング先端があたるまで締付ナットを本締めする。(標線と重なる程度が良い。)
※鋼管の場合は「標準締付トルク表」参照



押輪締付ナットを、数回にわたり均等に締め付け、本締めする。
(自動的に伸縮可とう量確保)
※「標準締付トルク表」参照



注)トルクレンチを使用してください。

●標準締付トルク表

[N・m]

呼び径	押輪	ストップリング			(仕切弁部-継手部) 接続用ボルト、ナット
		VP・ポリ	SP	SUS	
50	40 60	ストップリングの先端があたる迄	50	75	25
75			60	85	40
100			80	110	45~60
150					

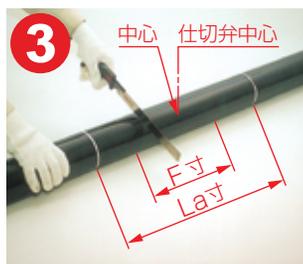
● 既設管 (切り込み) の場合



接続用六角ボルト、袋ナット(4組)を取り外し、仕切弁部と継手部を分離する。



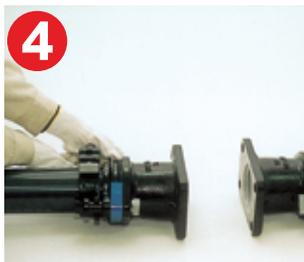
仕切弁部の接続フランジに、GFガスケットが、確実に収まっていることを確認して下さい。



仕切弁の中心位置を決め、La寸により左右均等に標線を入れる。その内側でF寸に基づき、管を切断する。※「La・F寸の表」参照

●La・F寸の表

呼び径	La	F
50	460	206~216
75	500	224~244
100	544	244~258
150	616	260~300



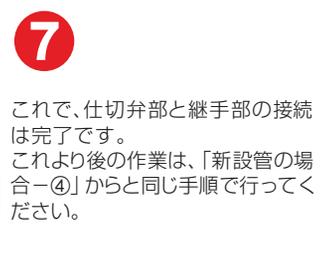
管切断面のカエリを取り除き、継手部を管に取付ける。左右共、奥に当たるまで入れ、「新設-②」と同じ要領でスペーサを取り外す。



仕切弁部を、GFガスケットを再確認の上、継手部の間に取り付け、標線を目安に継手部をスライドし接続する。



接続用六角ボルト、袋ナットを取付け、数回にわたり均等に締め付け、本締めする。
※「標準締付トルク表」参照



これで、仕切弁部と継手部の接続は完了です。これより後の作業は、「新設管の場合-④」からと同じ手順で行ってください。

なお、詳しい施工手順は、製品に同梱しております「施工手順書」をご参照下さい。

水環境をクリエイトする

SUMIDA

STK 角田鉄工株式会社

・本 社 工 場

〒522-0047 滋賀県彦根市日夏町2789 ☎(0749)25-2500代 FAX(0749)25-2505

・九州営業所

〒816-0932 福岡県大野城市瓦田3丁目6番5号 ☎(092)571-3300代 FAX(092)573-9594

・大阪営業所

〒566-0042 大阪府摂津市東別府4丁目1番1号 ☎(06)6827-4601 FAX(06)6827-4602

・東北営業所

〒989-2432 宮城県岩沼市中央3丁目4番5号 ☎(0223)23-8550 FAX(0223)23-8560

※本カタログの内容は改良の為、予告することなく変更することがあります。